

# NEWS RELEASE



2026年2月16日

## ENEOS サンフラワーズが優勝！大樹生命 Wリーグ ユナイテッドカップ 2025-26

ENEOS サンフラワーズは、2月15日（日）に横浜武道館（神奈川県横浜市）で行われた「大樹生命 Wリーグ ユナイテッドカップ 2025-26」ファイナルステージ決勝でデンソーアイリスを69対62で下し、ユナイテッドカップ初優勝を果たして、「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」との2冠を達成しましたので、お知らせいたします。

本大会はWリーグ所属の全15チームが所属ディビジョン（プレミア/フューチャー）の壁を越えて頂点を争う、昨シーズンに新設されたトーナメント形式のカップ戦です。

決勝戦では、前半だけで宮崎選手が3本の3ポイントシュートを決めチームを勢いづけ、39対31で試合を折り返すと、第3クオーターでは、梅沢選手とアシュテン選手の高さを活かしたオフェンスで確実に得点を重ね、50対43で最終クオーターへ突入しました。勝負の第4クオーターでは、開始早々に馬瓜選手が3ポイントシュートを決めて流れを引き寄せ、オコエ選手の連続得点で追い上げるデンソーアイリスを振り切り勝利を収めました。

今大会のベスト5には、宮崎早織選手、星杏璃選手、アシュテン レイン プレッチエル選手が選出され、大会MVPは、決勝戦で16得点12アシストを記録した宮崎早織選手が受賞しました。

引き続き、ENEOS サンフラワーズへの温かいご声援をよろしくお願ひいたします。

### <試合結果>

日程	対戦チーム	スコア
2026年2月13日（金） 準々決勝	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ	60-59
2月14日（土） 準決勝	富士通 レッドウェーブ	85-74
2月15日（日） 決勝	デンソーアイリス	69-62

<コメント>

	<p><u>ティム ルイスヘッドコーチ</u> この3日間で3試合という厳しいスケジュールの中、選手たちが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。 そして、その結果として価値ある勝利を手にすことができ、本当に嬉しく思います。選手たちの頑張りには、改めて誇りを感じています。特に、宮崎早織選手には大きな拍手を送りたいです。 彼女の活躍はチームにとっても自分にとっても特別なものであり、心から嬉しく思っています。 シーズンの序盤からさまざまな困難がありましたが、今回の優勝は、選手たちが力を合わせてそれを乗り越えてきたからだと思います。 改めて、選手たちや応援してくださる全ての方々に、心より感謝いたします。</p>
	<p><u>宮崎 早織キャプテン</u> 今回、ユナイテッドカップ優勝という最高の結果を残すことができ、本当に嬉しく思います。 私にとってはこれが競技人生の最後のシーズン、そして集大成となりました。こうして最後の舞台で優勝を成し遂げ、有終の美を飾れたことを心から幸せに感じています。 これまで支えてくださった全ての方々、そして応援してくださったファンの皆さんに、心より感謝申し上げます。 これからも変わらぬご声援をチームに送り続けていただければ嬉しいです。ありがとうございました。</p>
	<p><u>星 杏璃キャプテン</u> 今回、自分たちはプレーオフに出場することができませんでしたが、今シーズン最後のユナイテッドカップで3試合を通じて、皆で貴重な経験を積むことができました。 Wリーグでも優勝を勝ち取るという目標にはあと一歩届きませんでしたが、今回のカップ戦を優勝したことで、最後は明るい気持ちで宮崎選手を送り出すことが出来たことを嬉しく思います。 これまで多くのご声援をいただき、本当にありがとうございました。皆さまの応援が私たちの力になっています。悔しい思いもありますが、この経験を次に活かし、前向きに進んでいきます。 引き続き、温かいご声援のほどよろしくお願ひいたします。</p>



### 馬瓜 エブリン選手

今シーズン、宮崎選手のラストゲームを最高の形で終え有終の美を飾ることを、チーム全員の大きなモチベーションとして戦い抜きました。そのみんなの思いが一つになって優勝という素晴らしい結果につながったことを本当に誇りに思っています。

宮崎選手をはじめ、受け継がれてきたサンフラワーズのカルチャーをこれからも大切にし、次の世代へとしっかりとつないでいきたいと強く感じています。

苦しい時も支えてくださったファンの皆さん、関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。

これからもサンフラワーズらしく、さらなる高みを目指してチーム一丸となって挑戦し続けます。

引き続き、ENEOS サンフラワーズへの温かい応援をどうぞよろしくお願ひいたします。

以上